

◇教育学科 主要科目の特長

科目	特長
クラスゼミナールⅠ	大学において仲間と共に主体的な学びを行うための基礎を獲得し、自らのキャリアデザインの目標を設定する。教育学科での学びの特徴を理解し、どのような力を身につける必要があるかを理解する。また、グループでの活動を通して良好な人間関係を構築するとともに、ノートテイキングや調査手法など、大学での学びに必要なスキルについて、グループでの課題研究やプレゼンテーションを通じて身につける。
音楽Ⅰ	個人レッスンと集団授業を組み合わせながら、幼児教育及び小学校教育の現場で必要となる音楽の基礎的な知識と技能を身につける。個人レッスンでは、個々のレベルに合った楽曲に取り組み、ピアノと弾き歌いの技能の修得を目指す。集団授業では、読譜に必要な知識を身につけるとともに、独唱や合唱などの演習を通じて歌唱表現に関する知識と技能を修得する。
個別教育計画作成演習	個別教育計画(Individualized Education Plan;IEP)は、学習者一人一人のニーズを正確に把握し、個別最適化された教育を行うことを目的とした教育計画である。本授業では、学習者個々の特性を正確に把握した上で教育計画を作成し、個別教育計画に基づいた教育の実践方法を体験的に学習する。
防災とコミュニティ	近年、自然災害による被害は拡大の一途をたどっている。このような流れを受け、身近な地域・コミュニティ、学校教育においても防災・減災の取組はますます重要視されている。身近な地域・コミュニティおよび学校教育を対象とした防災・減災の取組を取り上げ、防災・減災に関する取組・制度や教育論を知り、それを踏まえ身近な地域・コミュニティに属する一員として防災・減災に関する取組について議論したり、提案したりする力の育成を目指す。
学校教育におけるICT活用	学校教育においてGIGAスクール構想が進み、児童生徒1人1台のPCやタブレット端末や情報機器等を用いた教育環境が整備されてきている。ICT環境の充実とともに、教員として校務および授業の教材開発に関わる上でのICTスキルの向上が求められている。学校教育のあらゆる場面を想定しながら、各種アプリケーションソフトを用いたICT活用により、知識と技術を身につける。各教科の指導においても効果的なICT活用ができることを目指す。

◇教育学科 主要科目の特長

科目	特長
教育の思想と原理	教育は世代間の相互作用、学校・家庭・地域社会の間の相互作用として営まれている。その歴史はイニシエーションとしての教育から、学校教育制度の成立を経て、生涯学習の時代に至っている。このような歴史的変遷の中で、教育は何のために営まれ、学校は何のために存在してきたのか。本授業では、教育の理念や思想が生み出された歴史的・社会的な背景を学びつつ、現代の教育課題に主体的に取り組むための姿勢を身につけることが期待される。
教職入門	教職とは何か、教員の社会的役割は何か、教員の仕事とはどのようなことなのかについてさまざまな角度からアプローチし、教職の意義についての理解を深める。実際の教員の「仕事」や「立場」を、授業、校務分掌、保護者や地域と連携の観点から捉え、チームとしての学校の在り方を考察するとともに、法的な位置づけを理解する。また、教員として求められる資質や能力はどのようなものかについて理解し、自らの課題を明らかにする。
教育制度論	教育行政の組織と機能および学校教育に必要な法令や制度の基本、重要語句・概念についての理解を深め、教員となるために必要な教育制度や学校経営についての体系的な知識を獲得する。教育法規の体系や、教育の理念・目的・目標、教育の機会均等を実現するための教育行政の仕組みや学校制度、学校運営について学習するとともに、今日の教育の課題と教育改革の動向を理解し、学校制度・学校経営の視点から考察することにより自分自身の考えを深める。
教育心理学	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、教育の実践や問題解決に活かす基礎的な知識を身につけることを目指す。各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。具体的には、教育心理学の用語や理論・方法論などの知識や、学習や記憶の仕組み、発達・学習・動機づけ・集団作り等を踏まえた学習指導と評価を考える力を身につける。
教育課程論	近年の教育改革では、特色ある学校づくりが求められるようになっている。学校づくりの核となるのが、教育の内容及び方法の選択・組織に関わる教育課程である。我が国の教育課程の基準としての学習指導要領の歴史的変遷を実践的視点からその諸理論を概観して、今日の教育改革や教育課程改革を理解し、そこに潜む問題や課題を把握し、新しい学校教育の展開と特色ある教育課程のあり方について学ぶ。

◇教育学科 主要科目の特長

科目	特長
教育方法・技術論	これからの社会を生きる子どもたちを育成するために、どのように教材や学習環境を工夫すれば学習者は上手く学べるのかを学習する。 インストラクショナルデザインの考え方に基づいて、授業設計にかかわる基本的な考え方、授業場面での指導技術、ICT（情報通信技術）の効果的な活用や情報社会の中で学び続ける力の育成方法を学ぶとともに、学習指導案を実際に作成し、受講生間で評価することで、授業設計の一連のプロセスを学ぶ。
教育におけるICT活用の理論と方法	児童生徒1人1台端末による学習環境が整備され、ICT（情報通信技術）による個別最適な学びと協働的な学びが実現できるようになった。この科目は、主体的・対話的な深い学びの実現のためのICT活用指導力の養成を目指し、ICTを活用した学習活動の意義を理解し、学習場面に応じたICTを活用した授業の設計と準備、児童生徒の情報活用能力を育成するための指導法、教師や学校を支援するツールとしてのICTの活用について学ぶ。また、各教科等のデジタル教材を作成する演習にも取り組む。
教育相談	教育相談が学校生活において児童・生徒と接する教員にとって不可欠な業務であり、学校における基盤的な機能であることを踏まえて、幼児、児童及び生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）について理解を深めることを目的とする。